

平成 30 年 1 月  
発行：依田窪老人保健施設  
広報編集委員会  
〒386-0603  
小県郡長和町古町 3365-5  
TEL：0268-68-0281  
FAX：0268-68-0283

## 新年のごあいさつ



施設長  
石橋 久夫

新年明けましておめでとうございます。  
平成30年の新年を迎えるにあたって、  
老健いこいのご利用者や地域の皆様方  
のご多幸を心より祈念いたします。



おたや祭山車 下町・藤見町第4場  
社務所再建祈願 浦安の舞の場

## 1月の行事

今年一年の無病息災を願い、1月9日に繭玉づくり、11日にどんど焼きを、入所・通所のご利用者全員でにぎやかにを行いました。



手際よく繭玉ができあがりました。



どんど焼き：火にあたりかぜ知らず！

平成も残り1年4か月になってまいりました。我々戦後生まれは、その後の昭和・平成と戦争のない時代に生まれ育ち、おそらく歴史上最も幸せな時代に生きてこられたように思います。しかし次の新元号の時代に、この地球はいかなる状況になるのかは、想像さえ困難です。文明の進歩によって、人間のなすべきことも、かなりの部分がAI（人工知能）にとって代わられ、人間存在の意味が改めて問われるでしょう。この日本という国では、縄文の時代から、大自然との関わりを通して、生命循環の思想や自然との共生思想を大切にしてきました。そこにあるのは、生かされていることに対する「感謝の心」です。この日本の伝統精神は、新たな時代になったとしても、大切に受け継がれてほしいと心から願っています。

### ▼ 全人的ケア&全人的リハビリ

今年から向こう5年間、老健いこいのテーマを「全人的ケア&(アンド)全人的リハビリ」として、地域の高齢化社会を支えるために、しっかりと取り組みたいと思います。

人間老いることによって、いつしか心身の機能が低下し、不本意ながらも寝たきりや認知症となって、自らの力で自立

と尊厳を守ることが難しくなります。そして孤立、孤独化への道を辿り、生きる力を失っていくのです。そんな兆候が現れた時は、是非早めに老健いこいへの入所をお勧めします。

「全人的ケア&全人的リハビリ」というテーマを貫く老健いこいの精神というのは、心身の弱ったお年寄りに、職員全員が優しく心温かで想いのこもったケアやリハビリを提供することによって、お年寄りらに、「自分のいのちがこんなにも大切にされているんだ」ということを実感していただくことにあります。そしてそこから、再び生きる力と生きていくことの喜びが蘇ってくるのです。さらには、家族との心の絆も復活し、在宅復帰へとつながっていくならば、お年寄りの喜びは望外なものになります。在宅復帰後も、

老健いこいでは、通所リハビリセンターを継続して利用していただくことによって、在宅生活を維持するための支援を行っています。地域の貴重な財産でもある、老健いこいの入所機能や通所機能を十分に活用していただきたいと思えます。在宅生活に行き詰っている、新規の利用者大歓迎です。

今後5年間、以上に述べたような、「全人的ケア&全人的リハビリ」の精神を、老健いこいの伝統文化として育み、定着させ、優しさのあふれる理想的な老健施設にしていきたいと考えています。それによって、地域のお年寄りの利用者満足と和の精神による職員満足をも同時に実現していきます。地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

コミュニケーションを大切に

介護員 龍野 遼



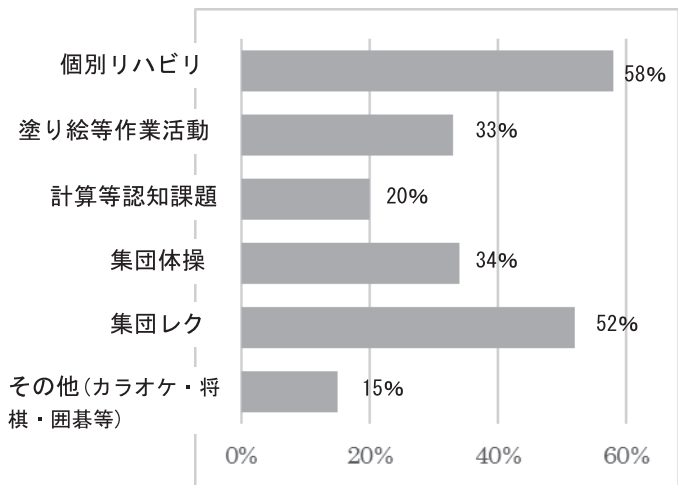
私が介護という仕事について早4年の歳月が経ちました。最初にご利用者と笑顔で話せるのか、先輩職員に迷惑かけずに仕事ができるのかと不安な毎日でしたが、出勤した私をいち早く見つけ「龍野さんおはよう。」とご利用者が声をかけてくださったことがありました。あの時の喜びは今でも忘れず働いています。また、仕事中に戸惑うことや困ったことがあっても顔に出さないように働いているつもりですが、ご利用者から「今日はいつもより表情が暗いね。」「風邪ひいたの？」と心配をしてくださったこともありました。ご利用者の優しさをうれしく思うと共に、余計な心配をかけないいつもの笑顔でいなければと反省したこともありました。

今まではご利用者に助けられてばかりの私でしたが、これからは老健いこいの介護員として「ご利用者に満足いただけるケアの提供」を念頭に置き努めていきます。

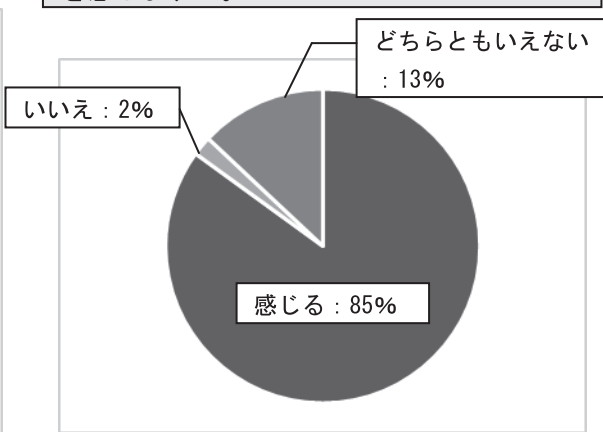
高齢になり心身の機能が徐々に低下し、自分の力だけで生活していくのが困難になると、生きる意欲が弱まってくる場合があります。そのような状況になったとき、いこいでは一人ひとりのご利用者の状態等を正確に把握し、それに見合った適切なサービスを提供して、生きる意欲を取り戻し満足していただけるケアの提供に全職員が連携して取り組んでいます。

その中で私が今、積極的に取り組んでいることは「コミュニケーションを大切にする」ことです。在宅復帰にはご家族との関係性も重要になってきます。良い関係を作るためにはやはりコミュニケーションが重要です。面会に来てくださるご家族へのあいさつに始まり、ご利用者の状況をお伝えしたり、ご要望をお聞きしたり、何気ない会話や世間話なども重ねていく中でご家族との信頼関係を築くことができます。そこから得られた多くの情報を元に、ご利用者が望まれケア、満足いただけるケアの提供ができるものと考えます。今年もその達成に向けて励んでまいります。多くの皆様のご利用をお待ちしております。

問2 利用する中で、楽しみにしていることは何ですか。(複数回答)

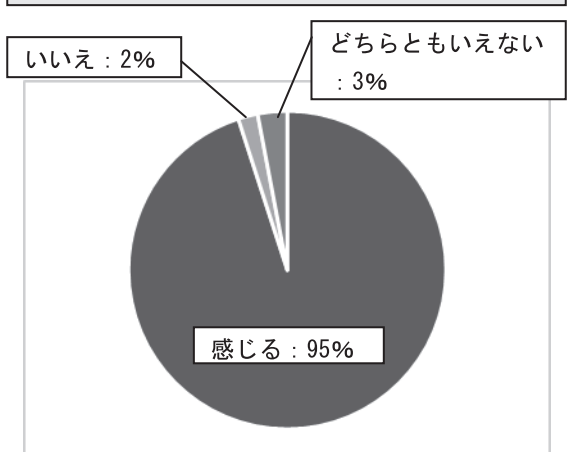


問1 リハビリセンターを利用して、リハビリをしている、活動をしているという満足感を感じますか。



いこい通所リハビリテーションセンターの評価  
いこいの通所リハビリテーションは、昨年の4月に「いこい通所リハビリテーションセンター」と改称し、リハビリに特化したサービスを提供しています。改称してから9ヶ月が経過したところで、ご利用者の皆様にアンケートにご協力いただき、評価をしていただきました。その結果をお知らせいたします。

問3 利用することにより、体や気持ちが元気になったと感じますか。



アンケートは、ご利用者117名に配布し90名の方から回答をいただきました。この調査により当センターに対するご利用者の満足度が高いことがわかりました。今年も、ご利用者に元気になっていただくため、メニューの更新を行いながら、楽しくリハビリが受けられるよう取り組んでまいります。大勢の皆様のご利用をお待ちしております。

★ 編集後記 ★  
新年明けましておめでとうございます。元旦には、初日の出がひとときわたくし山野を照らし、良き年となる前兆と期待をいたしました。  
さて、今年4月には、介護報酬の改定があります。0.54%のプラス改定となることので、まずはひと安心をしております。  
本年も老健の使命である在宅復帰・在宅生活支援に、職員一丸となって邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

(編集委員)

